



東京教区時報

# きょうくニュース

第601号  
2024年12月15日  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集 広報委員会

WEB:<http://nssk.org/tokyo> E-MAIL:[comm.tko@nssk.org](mailto:comm.tko@nssk.org) Phone:03-3433-0987 Fax:03-3433-8678

## 公 示

救主降生 2024年11月19日  
日本聖公会東京教区主教  
主教フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

神のお許しがあれば、聖職按手式を下記のように執り行い  
執事 ウィリアムズ 藤田 誠  
を公会の司祭に叙任いたします。  
主にある諸教会のみなさまのご加禱をお願いいたします。

## 記

日 時 救主降生 2025年1月13日(月・休) 午後2時  
式 場 日本聖公会東京教区 聖アンデレ主教座聖堂  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18 TEL03-3431-2822  
司 式 主教 フランシスコ・ザビエル 高橋 宏幸  
説 教 司祭 ヨセフ 太田 信三  
式典長 司祭 ステパノ 卓 志雄  
※祭色は赤を用います。

以上

## ◇12月の代禱・信施奉獻先

▽世界エイズデー(1日)▽野宿生活者支援のため(Ⅱ)▽エルサレム教区の難民支援活動のため  
▽日本聖書協会の働きのため▽難民・移住労働者のため

## ◇共育プロジェクト 黙想会のご案内

参加費無料、事前予約不要

主催：信仰と生活委員会 共育プロジェクト

### 【テゼの歌・アイコン・沈黙】

日時：12月21日(土) 16時半

場所：目白聖公会

ファシリテーター：植松 功

### 【イメージを用いて祈る】

日時：12月26日(木) 7時

場所：神田キリスト教会

ファシリテーター：上田 亜樹子司祭

2023年日本聖公会宣教協議会からの呼びかけ  
ここからまた歩きはじめよう  
～いのちに仕え、となりびととなるために～

1. 神の み声に耳を傾けよう
2. 人々の声に耳を傾けよう
3. 世界 の声に耳を傾けよう

## ▽神田キリスト教会ランチタイムパイプオルガンコンサート

日時：12月18日(水) 12時20分～50分

場所：神田キリスト教会

演奏：和田純子

入場無料

## ▽キリスト者平和ネットピース

日時：12月20日(金)

18:00～ キャロリング・フォー・ピース

神田キリスト教会

19:00～ 秋葉原でキャロリング

## ▽原発のない世界を求める Zoom Café

日時：12月21日(土) 14時～15時半

読書と茶っど『脱原発の視点で聖書を読む』日本福音ルーテル教会社会委員会編(後編)

### 今週・来週の予定

12月15日～28日

15(日)	降臨節第3主日
18(水)	教役者レクイエム
19(木)	小笠原プロジェクト 常置委員会
22(日)	降臨節第4主日
24(火)	降誕日前夕
25(水)	降誕日

Zoom リンク <https://onl.bz/UA3pSej>

ID：820 1414 1653 パスコード：822900

主催：日本聖公会 正義と平和委員会

原発問題プロジェクト

#### ◆教役者レクイエム

\*聖アンデレ教会 HP よりライブ配信します。

<https://st-andrew-tokyo.blogspot.com/p/index.html>

日時：12月18日(水)10時半

場所：聖アンデレ主教座聖堂

説教者：司祭 山口千壽

▽司祭 高島 靖▽司祭 岩井 祐彦▽司祭 吉沢 直江

▽執事 赤間 尚義▽司祭 桜井 享▽司祭 島田 信▽

伝道師 檜垣 茂▽司祭 貫 民之介▽司祭 今宮 良治

▽伝道師 輿石 くは▽主教 佐々木 鎮次▽司祭 加

藤 九十九▽司祭 秋吉 光雄▽司祭 清田 海一郎▽

司祭 竹内 寛▽主教 工藤 義雄▽司祭 堀江 清▽司

祭 内田 稔▽伝道師 伊東 千代子▽司祭 富田 孫太郎▽司祭 大矢 敬香▽司祭 奥村 亮

#### 【2024年 東京教区 教会・礼拝堂 クリスマス礼拝・プログラム】

東京教区ホームページに掲載しております。(URL：<https://www.nskk.org/tokyo/2024/12/06/10594>)

#### 【教区事務所冬季休業のお知らせ】

12月25日(水・降誕日)、12月30日(月)～1月6日(月)を冬季休業とさせていただきます。

#### 【教区ニュース休刊】

12月29日号、1月5日号 休刊いたします。

### 北関東・東京教区「新教区設立への道」の現在地

宣教協働特別委員会 司祭 斎藤 徹

両教区は新教区設立を目指しており、そのために「教会巡礼」、大根の種まきと収穫、巡礼スタンブ帳発行、教区プログラムを広く呼びかけるなど出会いを重ねるプログラムを実施してきました。また、ふたつの教区をひとつにするため、様々な協議を重ねてきました。現在は「ひとつの教区になったらどうなるか」というシミュレーションから、「どのようにひとつにするか」という具体的準備作業が始められています。組織的な準備として、既存の活動を整理しながら、新教区の宣教体制のありようを含めた組織図草案作成、日本聖公会法規、宗教法人法に照らし合わせた新教区設立手続きを進めるための施工規則草案の作成や教区事務所機能の整理などが始まっています。財政的な準備として、財政一本化を目指し、教役者給与体系の整理・整備、財務諸表統一の思索が行われています。このように、具体的準備作業を進めていく段階にきたことから、宣教協働特別委員会の体制も「これから」を考慮した体制へと移行しようとしています。これまでの4つの小委員会に加え、新たに 宣教小委員会、教務小委員会を設置し、財政小委員会と合わせた3つの小委員会を新教区設立「実務チーム」と位置づけ、より具体的な新教区設立準備作業にあたっていきます。また、宣教協働特別委員会のメンバーを両教区常置委員とし、情報共有と協議がより円滑に進むようにしていくことを目指しています。2025年秋の定期教区会で、新教区設立のための議案が提出される予定です。その時に向けて、より深い出会いプログラムと、具体的な協議を積み上げていく協働が進められています。

\*「きょうどう通信第15号」(北関東・東京教区宣教協働特別委員会 広報小委員会 /2024年9月22日発行)から同記事を抜粋掲載しました。